

# 埼玉大学紀要

(教養学部)

第58巻(第2号)

2023

## (目次)

メディアとしての情報システムの認識と評価	内木哲也	(1)
現代日本語の名詞分類に向けて —結合関係に基づいて—	岡田幸彦	(15)
動詞「満つ・満たす」の格体制 —上代から中世まで—	川野靖子	(37)
When People are Moved, Their Experience Transcends Their Culture: Examining Own-Life Experiences of Being Moved Among Japanese, Chinese, and Germans	趙丹寧	(57)
ヴァチカン図書館所蔵ギリシア語詩篇写本 1927 番 第 42-51 葉に関する記述	辻絵理子	(79)
差別語のメトニミー的原理について— または能力主義をめぐる学生たちとの対話	野中進	(87)
米国トランプ第一期政権と 2020 年大統領選挙におけるブランド戦略 (3) 2016 年～ 2022 年中間選挙までのトランプブランドの変遷	平林紀子	(105)
ウランバートル・ゲル地区における家庭菜園活動	スレンバートル・ルヴサンジャムツ 松宮邑子 三浦敦	(135)
マナ・供犠・暴力 フランス農村における恩寵とミメシス	三浦敦	(145)
Writer Feedback: Tracing the process of personal change in feedback strategies gained during teaching online classes.	ミルン・アランジョージ	(161)
志賀親朋書翰集翻刻 (五)	沢田和彦 畠山雄三郎	(175)

埼玉大学教養学部

# 埼玉大学紀要(教養学部)投稿規程

## (名称及び発行)

第1条 埼玉大学紀要(教養学部)と称し、英語名を Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts) とする。

2 埼玉大学紀要(教養学部)(以下「紀要」という。)は、埼玉大学大学院人文社会科学研究科(学際系)教員(以下「本学部教員」という。)等の学術研究成果を発表することを目的とし、原則として年2回発行し、2号分をもって1巻とする。

## (投稿資格)

第2条 紀要へ投稿できる者は、原則として本学部専任教員および本学部の非常勤講師とする。但し、教養学部紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)および教養学部学部長室(以下「学部長室」という。)が必要と認めた場合は、本学部教員以外の者にも投稿を許可することができる。

2 共著の場合は、本学部専任教員が主たる研究者となり執筆したものに限る。

## (論文等の掲載の可否)

第3条 掲載の可否は、編集委員会が決定する。

## (不正行為の防止)

第4条 本誌に投稿する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。他の学術誌等に投稿済のものへの投稿は二重投稿とみなし、本誌での掲載を認めない。

2 投稿論文の研究あるいは執筆において重要な貢献をなしていない者が著者となることはできない。また、不適切なオーサーシップの疑義があると学部長室が認めた投稿論文等は、本誌への掲載を認めない。

## (掲載順序)

第5条 掲載順序は、原則として、横書き、縦書きそれぞれの投稿者氏名の50音順とする。

## (経費)

第6条 紀要発行に要する経費は、原則として学部負担とする。

2 カラー印刷など特殊な印刷を要する場合、その印刷経費は原則として投稿者負担(運営費)とする。

3 別刷りの経費は原則として投稿者負担(運営費)とする。

## (著作権等)

第7条 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載したり、オリジナルを掲載する場合、著作権に関わる問題や法令上の手続きは、投稿者があらかじめ処理するものとする。それらについて問題が生じた場合は、その責は投稿者が負うものとする。

2 投稿者は、埼玉大学に対して、当該論文等の印刷、電子的記録媒体(USBメモリ等)への変換・複製、学内外への配布を原則として許諾するものとする。

3 投稿者は、埼玉大学及びこれが委託する機関等に対して、当該論文等の送信可能化・コンピュータネットワーク等での学内外への公開を原則として許諾するものとする。

埼玉大学紀要(教養学部) 第58巻(第2号)

2023年3月31日 印刷  
2023年3月31日 発行

編集兼 埼玉大学教養学部  
発行人 さいたま市桜区下大久保255番地

印刷所 有限会社 大谷製版  
埼玉県さいたま市見沼区深作3-33-12

# Saitama University Review

(Faculty of Liberal Arts)

Vol. 58 (No. 2)

2023

---

## Contents

- Recognition and Evaluation as Media of an Information System ..... UCHIKI Tetsuya ..... ( 1)
- Towards a Collocational Grouping of Nouns in Modern Japanese ..... OKADA Yukihiro ..... ( 15)
- The Case Structure of "Mitsu (Mitasu)":  
From Old to Middle Japanese ..... KAWANO, Yasuko ..... ( 37)
- When People are Moved,  
Their Experience Transcends Their Culture: ..... Danning ZHAO ..... ( 57)  
Examining Own-Life Experiences of Being Moved Among Japanese, Chinese, and Germans
- A Further Description of Cod. Vat. gr. 1927, ff.42v-51: ..... TSUJI Eriko ..... ( 79)  
A Comparison with the Marginal Psalters
- Metonymic Principle of Discriminating Words,  
or Discussions with Students on Meritocracy ..... NONAKA Susumu ..... ( 87)
- Branding President Trump: Strategies during his first-term  
presidency and the 2020 reelection campaign, Part 3,  
Research notes on the transition of Brand Trump  
through the 2016-2022 elections ..... Noriko HIRABAYASHI ..... (105)
- Family Farming in Ger Dstricts in Ulaan Baatar, Mongolia ..... LUVSANJAMTS Srenbaatar  
Yuko MATSUMIYA ..... (135)  
Atsushi MIURA
- Mana, Sacrifice, and Violence  
Grace and Mimesis in Rural France ..... Atsushi MIURA ..... (145)
- Writer Feedback: Tracing the process of personal change in  
feedback strategies gained during teaching online classes. .... Alan George Milne ..... (161)
- Letters Written by Chikatomo SHIGA: Reprint (5) ..... SAWADA, Kazuhiko  
HATAKEYAMA, Yūzaburō ..... (175)
- 

Faculty of Liberal Arts

Saitama University